

# 国 語 科

Ⅲ

せ

て

め

なた



表 3 月 文化に関する学習目標

期	文字として(筆順ア, 成り立ちイ, 読み・意味ウ, 組み立てエ)	熟語として(成り立ちイ, 読み・意味キ, 和漢語・外来語カ, 複合語ケ)	文化として(故事成語ト, 漢文・漢詩シ, 漢語・漢字)
III期	<p>Stage エ 3・ウ 4 漢字と仮名を用いた日本語の表記の特徴を理解することができる。</p> <p>Stage ウ 4 翻訳語や社会や生活の変化によって新たに作られる熟語を知り、漢字のもつ造語力を理解することができる。</p>	<p>Stage ク 2 和語・漢語・外来語・混種語を相手や場面に応じて漢語に選ぶことができる。</p> <p>Stage キ 5 熟語には「音・訓」「音・訓」と「音」, 熟字という読み方があることを理解することができる。</p> <p>Stage キ 4 た英字の意味や使い方を類推したり調べられる。同訓異字, 同音異字の使い分けができる。</p> <p>Stage カ 2 の七字熟語・三字熟語・四字以上の熟語構成を理解することができる。</p>	<p>Stage シ 3 漢文、漢詩を朗読し文体に慣れることができる。歴史的背景を踏まえて読み、自分の生き方を振り返る流しができる。</p>
II期	<p>Stage エ 2 部首の名称と意味を知り、漢字の組み立てを理解することができる。</p> <p>Stage ウ 3 漢字が日本文化に伝えられた背景を踏まえながら漢字の読み多様性(音読み・訓読み)を理解することができる。</p> <p>Stage イ 3 象形・指示・会意・形声・(転注・仮借)の分類を理解することができる。</p> <p>Stage ア 3 筆順の有効性を理解することができる。</p>	<p>Stage ケ 1 複数の熟語の組み合わせを知ることができる。</p> <p>Stage ク 1 す知語・漢語・外来語の違いを考え、探ることができる。</p> <p>Stage キ 3 と複数の読み方をする熟語を理解することができる。</p> <p>Stage キ 2 が同訓異字・同音異字を知り、使い分けができる。</p> <p>Stage カ 1 が二字三字の熟語の成り立ちを知ることができる。</p>	<p>Stage シ 2 漢文、漢詩を読み、昔の人のものの見方や考え方を理解することができる。</p> <p>Stage シ 1 漢文、漢詩を音読して特有の言い回しやリズムを感じ、大体の意味を知ることができる。</p> <p>Stage サ 2・シ 1 故事の由来・意味・価値や漢文成文体について理解することができる。</p>
I期	<p>Stage エ 1 「へん・つくり・かんむり・あし・たれ」等、身近な部首を知ることができる。</p> <p>Stage ウ 2 形や読み方が似ていても意味や使い方の違う漢字があることを知る。</p> <p>Stage ウ 1 同じ漢字でもいろいろな読み方があることを知る。</p> <p>Stage イ 2 形声文字の成り立ちを知ることができる。</p> <p>Stage イ 1 象形・指示・会意文字の成り立ちを理解することができる。</p> <p>Stage ア 2 筆順を理解し「とめ・はね・はらい・おれ・まが」等に注意して書くことができる。</p> <p>Stage ア 1 漢字には筆順があることを知り、筆順に注意して書くことができる。</p>	<p>Stage キ 1 既習の漢字の熟語を知り、文中で使うことができる。</p>	<p>Stage サ 1 身近な故事成語の由来と意味を知ることができる。</p>

せ



③ Ⅲ

そ き きそ り めりえ

③ Ⅲ

そ き きそ く く き

④ III

めて

と け

るけ